

第2期 事業報告

2020年度（2020年7月1日～2021年6月30日）事業報告

環境整備事業

子どもたちが夢を描きたくなるような環境を整えるための支援

- 2020年08月佐賀県立金立特別支援学校
ワイド特殊滑り台寄贈（支援金額 2,016,300円）
- 2020年11月熊本県山都町立中島小学校
滑り台付ジャングルジム寄贈（支援金額 691,357円）

東日本大震災から7年が経った頃、学校の仮設住宅は撤去されましたが校庭の運動遊具はなくなつたままでした。ジャングルジムや雲梯などに触れることなく卒業する子どもたちがいる中、先生方から“子どもの頃に遊具で遊ぶ経験は、体力や知育に必要で一日も早く設置して欲しい”という声が届きました。当基金では、先生方の願いと運動遊具が子どもにとって重要であることを理解し、各地の教育委員会に遊具の設置を働きかけ「運動遊具を寄贈する活動」を行うことになりました。会員の皆様はもとよりご寄付をいただいている皆様、協賛していただいた企業の皆様に支えられて実現できてきたこと、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。2020年度は、現地視察で決定した熊本県と佐賀県の学校に遊具を届けさせていただきました。また、9月に行われた感動体験事業のステージでは、遊具で遊ぶ子どもたちのビデオレターを紹介いたしました。イベントに参加していた東京の子どもと金立特別支援学校中島小学校保護者の皆様にも、遊具の大切さが伝わったと思います。熊本県では、教育長自ら「運動遊具が寄贈されたパンフレット」を作成し、近隣の学校に配布して感謝の気持ちを表していただきました。子どもたちがジャングルジムに登り、今まで見えなかつた事に気づいたり考えたりできる場所になることを願っています。今後とも皆様とともに、活動を継続して参りたいと思いますので、引き続きご支援ご協力を願い申し上げます。

担当理事 岡本彩子

- スリランカの子どもたちに新学期学用品を支援

新年度用の鞄140名分（支援金額10万円）

スリランカの経済的支援が必要な子ども達への支援をして4年目となりました。今年度は、新年度用の鞄を140名の子ども達へ支援する事が出来ました。鞄は、スランガニ（1992年設立スリランカ政府登録NGO）が質の良い物を、心を込めて用意してくれました。質の良い物を贈ることで、尊重する気持ちが伝わり、子ども達の心に元気とやる気をもたらしてくれました。

担当理事 山段晶子

もの城合唱団は映像で参加。支援先の皆様と中継を繋ぎ、現地と会場を一体化させる等、リモートによる機会提供を行いました。また、熊本県山都町では、地域住民が公民館に集まり、パブリックビューイングで鑑賞するイベントが行われ大盛況となりました。さらには、支援先小学校の取組として、当基金から贈られた運動遊具について、どのような経緯や協力があつて設置されたか等を説明したパンフレットが配られ、子どもたちが支援というものを理解する機会ともなりました。子どもたちにとって、感動する機会の重要性を伝える啓蒙活動の側面も含め、より充実した内容で、子どもたちに感動を届ける舞台を継続して作っていこうと思っております。ぜひ、より多くの皆様に、ご参加いただけることをお願い致します。

(実施詳細)

開催日時：2020年9月19日（土）18:30 開演

：2020年9月20日（日）14:00 開演

開催場所：四谷区民ホール

料金：6,500円・ライブ配信2,500円

出演者：川平慈英・平澤智・HIDEBOH・島田歌穂・早見優・村井良大・
麻生かほ理・秋山エリサ・大和田美帆・篠宮佑一・尾藤イサオ・
野田久美子、山崎俊介・ジョンカビラ（声の出演）・
子どもの城合唱団

演奏：崎久保よしひろ（Pf）・えがわとぶを（Ba）・吉田さとる（Sy）・
相原秀章（Gt）・河崎真澄（Dr）

担当理事 武田徳子

スポーツ体感事業

障がいや貧困など様々な理由でスポーツを経験できない子どもたちにも、スポーツの楽しさや、
スポーツを通した感動体験の機会を提供し健全な発育を支援

■ 障害児スキ一体験支援

デュアルスキーの普及活動支援（支援金額50,000円）

今年度は、残念なことながら、コロナ禍の影響を受け、これまでに実施してきた「全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権大会」での体験コーナーの設営等の支援や、「車椅子ジュニアテニス選手権大会」への試合用ボールの提供等の支援のような、直接子どもたちと触れ合う活動は行えませんでした。そんな中、障害を持つ子どもでも楽しむことができるデュアルスキーの普及活動に支援をすることができました。スポーツには観て楽しむことで感動する側面と、自らが実践し、プレイをする楽しさで感動する側面とがあります。特に子どもの頃からプレイを嗜むことは、身体と教養の両面を健全に発育する大きな後押しになるものと期待されています。皆様の協力のもと、今後も積極的に活動を継続して参ります。

担当理事 亀石亮

■ ネパール・パンチャイサ小学校インフラ支援

通学用バス購入費（支援金額 10 万円）

1997 年発足の慈善団体 LAFFOO（代表：宇田浩子様）を通じた支援を開始して 5 年になります。日本と異なり、治安が悪く、学校に通うこと自体が大変な子どもたちが大勢います。これまでに、水道設備や、学習机と椅子、鉄棒、パソコン機材購入等の支援を行ってきましたが、今年度は、少しでも多くの子どもたちが、安全に学校に通えることを祈って、通学用のバスを購入する費用を支援いたしました。今後とも、皆様の継続的なご支援をお願い致します。

担当理事 高橋睦美

■ 福祉施設に子ども服を寄贈

2021 年 3 月 4 日、都内にある福祉施設に子ども服を寄贈しました。今年初め、中山ふみか様から、新品の洋服 25 着、パジャマ 5 着、靴 3 足、アクセサリー 30 個程を寄贈したいとのご相談があり、寄贈先を検討させていただきました。その結果、DV 被害の為に着の身着のまま保護される親子には、子ども服が大変喜ばれるということが分かり、寄贈者のご希望とも一致しましたので、DV シェルター機能を持つ施設に、直接手渡しにて寄贈させていただきました。施設名・場所は施設の性格上、記載することはできませんが、ご寄贈いただきました中山ふみか様ありがとうございました。児童夢基金は、今後も皆様の想いの橋渡しを行ってまいります。どのようなことでもかまいませんので、ぜひご相談ください。

担当理事 大久保純子

感動体験事業

芸術や科学等、子どもたちに様々な体験機会を提供することで豊かな心を育み、自己肯定感を持ち、夢を描こうとする前向きな心の育成を支援

■ Bridge of the Rainbow 2020

【事業費 3,582,143 円 事業収入 2,214,200 円 協賛金・寄付 850,260 円】

2020 年 9 月に開催された本活動は、今回で 5 回目となる活動で、本事業の趣旨にご賛同頂いたキャスト、スタッフと共に、子どもたちへの感動体験の機会を提供するという目標に向かい作り上げていく、歌と踊りとトークのオムニバスショーとなっております。子ども達がプロのパフォーマーと共に演したり、間近に鑑賞したりすることで、それぞれの夢の実現に向けた力を育むきっかけとするための体験を提供するものです。今年度は新宿区様との共催で、多くのお子さんたちに鑑賞機会を提供する無償席レインボーシートに、区民のお子さんをご招待させていただきました。なお、コロナ禍のため、座席数を 1/3 にし、従来であれば、舞台で共演していた子どもたちの出演が難しいことから、こど

啓蒙事業

子どもたちが、前向きに夢を描いて成長するには、自己肯定感を持てるようになる、環境と体験が不可欠であることを、実践的な観点から発信することを目的とした事業です。

■ 夢ボーイちゃんねる

啓蒙動画のHPを通じた配信（事業収益 660,000円）

コロナ禍でリモート生活を余儀なくされている皆様に、ご家族で楽しみながら、夢に向かうきっかけとなるような情報発信をすることに主軸を置いて、心の栄養を提供するYouTubeチャンネルとしてスタートしました。今年度は多くの皆様から、すばらしい動画を提供していただき、文化芸術に関わる業界の皆様、シェフ、パティシエほか中・高生による作品なども多数公開できました。嬉しいことに、東日本大震災で被災した大船渡市立第一中学校吹奏楽部に当基金がリペア楽器をプレゼントした経緯から、後輩の部員の皆さんのが演奏動画を披露してくれました。

担当理事 青柳由美子

募金活動

当基金は、皆様の寄付金により支えていただいている、様々な場面で募金活動をさせていただいている、特にチャリティイベントやゴルフコンペでは、ご支援・ご協力頂いている皆様と基金のメンバーとの親睦を深め、活動へのご理解を深めていただける有意義な機会となっております。今期の実績をご報告申し上げるとともに感謝申し上げます。

担当理事 山段晴揮

(活動実績)

● ホームページ	28,500 円
● Bridge of the Rainbow	141,829 円
● チャリティゴルフコンペ	70,000 円
● 会員様	401,000 円
● その他の皆様	257,000 円
	合計 898,329 円

■ ご住所とお名前を明らかにして、3,000円以上ご寄付いただいた方の人数

- 2019年度（2020年4月～6月） 0人
- 2020年度（2020年7月～2021年6月） 137人
- 実績判定期間の人数 (0人+137人) ×12ヶ月／15ヶ月=109.6人

ご入会いただいた皆様

お陰様で、2020年度からスタート致しました会員制度ですが、多くの皆様に会員

となつていただけました。この場を借りて御礼申し上げます。当基金にとって、会員になつていただけるということは、継続的で安定した活動資金のご支援をいただけることであり、本当にありがたく思っております。ぜひ、周囲の皆様にも、当基金の活動にご理解をいただき、賛助の輪を広げていただけることを心よりお願い申し上げます。

(ご入会実績)

- 正会員 3名
- 賛助会員 (個人) 58名
- 賛助会員 (団体) 6社

担当理事 本多由美子

ご協賛

本年度も、多くの企業、団体の皆様に、多大なるご支援、ご協力をいただきました。感謝申し上げるとともに、ご報告させていただきます。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

担当理事 山本麻由美

(ご協賛実績)

17社 1,355,992円